

神奈川大学派遣交換留学生 近況報告書（初回）

所属	外国語学部	英語英文学科	学科 専攻
派遣先大学 (国)	トンプソンリバーズ大学 (カナダ)		
所属プログラム・ 学部・研究科	ESL		
報告書提出日	2019年9月23日		
留学予定期間	2019年9月～2020年4月		

## 1. 渡航について

### 1.1. 出発前の準備

出願料・宿舎デポジット： (500CAD) /合計

航空券代： (21万円) /合計

ビザ申請関連費： (150CAD) /合計

その他 ( ): ( ) /合計

ビザ取得の際に残高証明書は必要でしたか？ はい いいえ

「はい」の場合、いくらの残高証明書を作成しましたか？ (90万円) /合計

90万円の残高証明書に加え、神奈川大学からの奨学金の証明書を提出しました。

### 1.2. 渡航について

成田国際空港を出発し、バンクーバーで乗り換え、カムループス空港に到着しました。到着後、大学のボランティアの人が迎えてくれ、ネームリストにサインをして、送迎バスに乗りました。寮の入居日前に到着したため、一泊ホテルで宿泊をすることになり、バスでホテルまで送ってもらいました。ホテルから寮までは徒歩15分圏内でしたが、まだSIMカードを入手しておらず、マップをアプリで見ることが出来ず、到着するまで苦労しました。ホテルに宿泊してから寮に入居する場合は、ホテルからはタクシーを出してもらうことをおすすめします。

## 2. 到着後の手続きについて

### 2.1. 寮・ホームステイ等への入居手続き

自分でウェブサイトから申し込みをし、部屋を確保しなければいけません。申請方法は、詳しい詳細が現地の大学から送られてくるため、あまり苦労することはありませんでした。初期段階で、寮かホームステイかを選ぶこととなりますが、現地の留学生担当者からはホームステイをすすめられました。私の場合は、ルームメイトがいることや大学に近いこと、料金が比較的安いことから、寮を選択しました。寮はMcGill Housingという寮で、ルームメイトが三人のルームシェアでした。ルームメイトも自分でコンタクトをとり、自分に合う人を選ぶことが出来ます。

## 2.2. 滞在許可・外国人登録の手続き

外国人登録はビザの申請以外特に必要はありません。ビザを取得すれば、カナダでの滞在許可が下りるため、特別な手続きはありませんでした。ビザの手続きに関しては、ビザの申請と共に、バイオメトリクスという登録を日本人国籍の人はしなければいけませんでした。手続きに際した期間は、約一ヶ月で、ビザセンターまで行き、行いました。必要な書類がいくつもあるので、何が必要かを事前に調べ、準備し、特に一人暮らしをしている人はその書類が親のサインが必要かどうかを早めに把握しておく必要があると思います。

## 2.3. オリエンテーション・学生登録・プレイスメントテスト等の学内手続き

オリエンテーションは9月4日に行われました。学生登録もその日に行われ、学生登録には検定のスコアは必要でした。学生登録の際は日本人のSAの方が、サポートしてくださるので、心配することはありませんでした。プレイスメントテストはスコアを持っていれば受ける必要はなく、それでも受けたい場合は、事前に伝えておく必要がありました。オリエンテーションに関しては、交換留学生のためのものと、日本人のためのものがあり、どちらも参加する必要がありました。交換留学生のためのオリエンテーションは、英語がかなり早かったなと感じましたが、日本人のためのオリエンテーションは全て日本語で丁寧に説明してくれました。

## 3. 目標について

### 3.1. 留学の目的、達成目標

英語を話せるようになることはもちろん、自己研鑽にも努め、帰国後英検1級取得を目標とします。また、様々な国の友達が出来たので、その人たちとスムーズに会話が出来たいです。将来の目標としては、海外も視野に入れて働きたいと感じるようになったので、ビジネスにも対応できる英語を身につけたいです。

### 3.2. これまでの学習・研修目標および達成度について

これまでの学習に関しては、大学から出る課題に取り組み、自主勉強としてはほぼ毎日2時間の学習に努めています。大学から出される課題としては、あまり難度の高いものは出されませんが、質の高いものばかりであると感じます。一つ一つの課題がどういう目的で課されているのか明白に感じ取ることが出来るので、とてもやりがいを感じています。

これからは、もっと積極的に発言できるように、頑張りたいです。

### 3.3. 今月の学習・研修目標

テストでAプラスをとり、レベルをスキップすることを目標とします。ライティングやリーディングの授業でも、スピーキングは当たり前環境にいるので、もっと会話を繋げられるように努力していきたいです。また、自分の意見を求められることが多いので、しっかり自分の意見をその場で言えるように、常に意識していきたいです。

## 4. 学修について

### 4.1. 授業時間割

現在の学期	前学期
月	Oral Communication 8:30-10:20 Grammer 10:30-12:20 Reading 14:20-16:20
火	Composition 10:20-12:20 Grammer 12:30-14:20
水	Oral Communication 8:30-12:20 Grammer 10:30-12:20 Reading 14:20-16:20
木	Composition 10:20-12:20 Grammer 12:30-14:20
金	
土	
日	

### 4.2. 授業について

授業のスピードについては、ついていけるスピードで先生が生徒の理解スピードに合わせてくれました。内容については、基本的な英語学習で、主に教科書に沿って行われるため、予習をしていけば何も問題はありません。理解度については、最初は英語に耳が慣れず少し大変でしたが、徐々に慣れ、理解が深まると感じています。もし理解していなくても、周りの人たちがサポートしてくれたり、いつでも聞きに行けるサポートセンターがあるので、理解できなくても自分の行動次第で変わっていくと思えました。

### 4.3. 予習・復習・自習について

予習は毎時間行っています。授業内で課題が出され、それが予習になることが多いです。復習については宿題が復習、予習になるため自然とできているとおもいます。自習は金曜日に授業がないため、たっぷり時間があり、授業内での課題に加えて、中国語も自学しています。授業の取り方次第で変わるかと思いますが、土曜日でも日曜日でも大学はあいているので、自学をしに行きたい場合など、とても有効活用することが出来ます。寮に住んでいるため、すぐ誰かに聞きに行けるのも、すごく役立っています。

## 5. 生活について

### 5.1. 衣食住について

住居	学内寮（その他： ）

### 5.2. 課外活動について

友達と遊びに行ったり、料理を作って、楽しく過ごしています。様々な文化の料理をしながらの会話から知ることが出来たり、とても楽しい時間を過ごせました。また、外国人のクラスメイトともご飯を食べたり、母国の料理を作りあったり、先輩ともいろいろな話が出来て、社会勉強にもなっていると思います。アクティビティとしては、日本語クラブに入ったので、日本語を教えたり、反対に英語を教えるもらって、とても有意義に過ごせています。

### 5.3. 現在までの感想

最初はどうなるかと思いましたが、たくさんのいい人たちと出会えて、カナダにきて本当によかったと実感しています。みなさん留学に来ているだけあって、とても高い目標をもって、夢を持って来ていて、話をするのがとても楽しいと感じています。就職活動に関しても、年上の方が多いので、話を聞いたり、相談に乗っていただいて、現在のところ悩むことはありません。自分自身の人生と向き合っ、頑張っていきたいです。

これから残りの期間も、もっと楽しめるといいなと思っています。

以上

## 神奈川県派遣交換留学生 近況報告書 (11月)

所属	外国語学部	英語英文学科	学科 専攻
派遣先大学 (国)	トンプソンリバーズ大学 (カナダ)		
所属プログラム・ 学部・研究科	English as a second language		
報告書提出日	2019年 11月 1日		

### 1. 目標について

#### 1.1 留学の目的、達成目標

スピーキングの力を伸ばし、スムーズに会話ができる様になり、IELTS6.5以上、TOEIC750以上の取得を目標とする。そして、何よりも自信を持って英語が扱えるようになること。また、中国語に対する興味が深まったため、英語に加えて、中国語も伸ばしていき、帰国後に HSK3 級以上を受験し、取得したい。

#### 1.2 先月の学習・研修目標および達成度について

先月の学習について、課題はすべて提出し、現在までの成績はすべて A 以上であるため、この調子で成績を落とさないように頑張りたい。先生方が皆優しい先生ばかりで、私のクラスの先生は親日の方が多いため、授業を受けやすい環境であると感じる。授業内容としては、中間テストがあり、それに向けて学習に取り組んでいた。授業目的も毎回明確であるため、とても授業に取り組みやすかった。今後の抱負としては、A プラスをキープしている科目において、評価を落とさないように頑張りたい。そして、スキップできるように頑張りたい。

#### 1.3 今月の学習・研修目標

今月はカナダの着いて3ヶ月になる月であるため、リスニング力とスピーキング力の向上を一番の目標とする。具体的には、多国籍の人とためらいを捨てて会話ができる様になり、自分と話している時間が楽しかったと感じてもらえるように、常に努めていきたい。また、A プラスをキープしている科目において、評価を落とさないように頑張りたい。そして、スキップできるように頑張りたい。

### 2. 学修について

#### 2.1 授業時間割

現在の学期	前学期	
月	Intermediate Oral Communication 8:30-10:20	
	Intermediate Grammar1 10:30-12:20	
	Intermediate Reading and Study Skills 14:30-16:20	
火	Intermediate grammar2 10:30-12:20	

	Intermediate Grammer2 12:30-14:20
水	Intermediate Oral Communication 8:30-10:20 Intermediate Grammer1 10:30-12:20 Intermediate Reading and Study Skills 14:30-16:20
木	Intermediate Writing 10:30-12:20 Intermediate Grammer2 12:30-14:20
金	
土	
日	

## 2.2 授業について

現在受講しているクラスは計5科目である。

oral communication のクラスでは、毎回の授業でテーマが与えられ、それについてペアで話することから始まり、リスニングをクラス全体で行ったり、プレゼンテーションを一人ずつ行ったりと、スピーキングに特化した内容である。進度は比較的ゆっくりで生徒のレベルにあわせていると感じる。

Grammer1 では、主に教科書の内容に沿った内容で、それプラス与えられたセンテンスをペアで読み合うなど、文法を理解するための工夫がされていると感じる。

Reading では、主に教科書の内容に沿った内容で、それプラスペアで読み合ったり、グループと一緒に課題に取り組んだり、様々な形での学習を通してリーディング課題に取り組んでいる。内容は少しレベルが高いと感じていたが、現在は以前よりも取り組みやすいと感じている。

Writing では、Essay の書き方を教科書を通して学び、文法やスペリングミスの指摘から多くを学ぶことが出来ている。先生が話しをすることが好きな方で、日本に興味がある方なため、話す機会も多く、勉強になる。

Grammer2 では、文法を教科書に沿って学び、文法に関するプレゼンテーションをグループで行ったり、定期的にクイズが出されたりと、全クラスの中で一番日本での授業の内容に近いと思う。

## 2.3 予習・復習・自習について

oral communication のクラスでは、休日が週3日あるため、休日を利用して行っている。宿題が予習、復習になる事が多い。自習に関しては、宿題が主で、理解できないところがあれば、理解できるまで取り組みようになっている。

Grammer1 では、休日を利用して、理解できない文法があれば、理解できるまで取り組みようになっている。宿題が毎回課されるため、復習は必須である。

Reading では、次週に行うページの予習が禁止で、授業内で理解するような内容になっている。復習は、進出単語についてのクイズが出されるため、単語の復習が必要である。

Writing では、宿題がないため、特に行っていないが、Essay を完成させるために、書き方の復習をしている。

Grammer2 では、定期的にクイズが出されたり、文法に関するプレゼンテーションをグループで行う事があるため、復習は必須である。予習は、宿題として出されている。

## 2.4 語学力について

語学力に関しては、最初の頃は何を話されているのか全くついていけないことが多かったが、何を聞かれているのか、何を話されているのかをつかめるようになってきた。話す事に関しては、まだ自信がなく、スムーズな会話は出来ないが、同じ留学生の立場として来ている人とは、以前より会話が続く。

しかしながら、間違えることの羞恥心や躊躇がもともと強いため、恐る恐る話してしまうことが多々あるため、それらを捨てて、とにかく話すこと、そしてそれを根気強く続けることを忘れず、心に留めて頑張りたい。

## 3. 生活について

### 3.1 衣食住について

住居	(その他： )
食事に関しては、ほぼ自炊で、たまに外食をすることがある。友達と一緒にご飯を作ったり、食べに行ったり、一人で食事をすることはあまりない。	
徐々に寒さがつり、分厚いジャケットがないと外に出ることは難しい。日本から、冬服をあまり持って来ていなかったため、現地で購入した。カムループスでは、物価が安いため、衣類や食べ物も比較的安く購入することが出来る。カナダ出身の人曰く、カムループスでは、2 レイヤーのジャケットがないと冬を越すのが大変だと言っていたため、冬服選びは慎重に行うことをおすすめする。	

### 3.2 課外活動について

最近では Halloween があり、仮装をして友達とパーティーをしたり、お菓子をもらいに各家を回り歩いてみたり、ホーンテッドハウスやコーンフィールドメイズに行ったりと様々なイベントに参加した。Trick or treating では、ある家でドアをノックすると、女の子2人が出てきて、歌ってと言われ、歌わないとお菓子をくれないシステムなようだったため、歌を歌うと一番大きなお菓子を渡してくれ、とても良い経験になった。どのイベントにも、カナダの人と参加したため、リスニングテストを受けながら参加した気持ちだった。

### 3.3 現在までの感想

現在までのところ、英語が自分の強みだと感じていた日本での生活からは一転し、英語がコンプレックスになっていると感じることが多くなった。しかしそれは、以前よりも英語を話す機会が増えている証拠であり、最初からスムーズに会話が出来れば留学に来ていないし、これこそが留学に来て、英語を話せるようになる目的を叶えるために誰しもの道だと思い、自分は出来ていないと責めないようにしたい。他人と比べて自信をなくすのではなく、自分のペースで着実に伸ばしていけたらそれが本望であることを忘れないで頑張りたい。

また、中国語に対する興味が深まったため、自学に努めていき、将来の職探しに役立てられるように頑張りたい。

以上

神奈川大学派遣交換留学生 近況報告書 (2月)

記入日	2020年2月22日	
派遣先国	カナダ	
派遣先大学	トンプソンリバーズ大学	
留学先での所属学部	<input type="checkbox"/> 特定の学部・研究科等 学部名：( ) <input checked="" type="checkbox"/> 語学研修 <input type="checkbox"/> その他 ( )	
本学での所属	外国語学部	英語英文学科・専攻
学年	2年次 (留学開始時の本学での学年)	
留学期間	留学開始年月 2019年9月	留学終了予定 2020年4月

I. 留学目標について

<b>1. 留学の目的、達成目標</b>
<p>会話をスムーズにはかれるようになることや、相手の気持ちをくみ取り、心でつながっていると感じられる会話が出来るようになること。また、学内の成績に関しては、成績にBがつかないように努力することと帰国後にIELTS7.0以上に取得、TOEIC700点突破を狙い、さらなる英語力向上に努めていきたい。</p> <p>また、中国語圏からの留学生や移民者の多さから、元より本学で学習していた中国語も向上していきたいと感じるようになったため、帰国後のHSK受験と4.0以上の取得を目指すため、留学期間中に中国語話者の友人達から、英語で中国語を学び、理解の向上に努めることも目標とする。</p>
<b>2. 先月の学習・研修目標および達成度について</b>
<p>先月の学習に関して、成績はまだ出ていないが、新たに関わる先生達との出会いがあり、新しいスタイルでの授業に取り組むことが出来た。また、先学期よりも授業内での発言が出来る様になり、少しうれしく感じている。課題に関しては、以前と変わらず、プレゼンテーションや予習などの課題が出ているが、先学期よりも評価が高く返ってくる事が多くなり、とてもうれしく感じている。授業内容に関しては、本学で学習していたような文学者などの深い内容のものではなく、英語を英語で習っている状態で、内容に関してはあまり苦になることはない。しかし、他国からの生徒と共に学習することで学習内容以上に学べることが多い。</p>
<b>3. 今月の学習・研修目標</b>
<p>今月の学習に関しては、まだ成績は出ていないが、先月と比べてReading Breakという1週間の休暇があったこともあり、比較的大変な学習内容ではなかった。Presentationがいくつかあったが、テーマがあまり難易度が高くないものであったため、グループのメンバーと共にこなすことができた。</p> <p>また、履修している先生の3分の2が日本に長年住んでいたことがある先生であったり、奥さんが日本人の先生であったりとても親日家が多いことから、授業内で度々日本の文化についての面白い部分を聞くことが出来、とても興味深い学習につながったと感じている。</p>

II. 学修について

<b>1. 授業時間割</b>	
現在の学期： 冬 学期	
月	ESAL 0450-01 Advanced Oral Communication 8:30-10:20 ESAL 0470-01 Reading 14:30-16:20



	ESAL Vocabulary 16:30-18:20
火	ESAL Writing 10:30-12:20 ESAL Grammar 12:30-14:20
水	ESAL 0450-01 Advanced Oral Communication 8:30-10:20 ESAL 0470-01 Reading 14:30-16:20
木	ESAL Writing 10:30-12:20 ESAL Grammar 12:30-14:20 ESAL Vocabulary 16:30-18:20
金	
土	
日	Grammar

2. 予習・復習・自習について	
クラス名 : Speaking	
概要・内容・進度・理解度等	予習・復習・自習について
<p>スピーキングのクラスでは、まず4つのグループに分けられ、各班ごとにその日のテーマについて話し合う場が設けられます。その際には、各班ごとにリーダー、話し合った内容の発表者、秘書、積極的に発言する人の役割が決められていて、毎回違う立場で話し合いに参加する。話し合いは二回行われ、毎回役割も変えられている。話し合いの内容としては、同性愛者に対するものや環境問題、または身近なファッションについてや食事についてなどに対して意見する。</p>	<p>予習に関しては、特に求められている物はないが、あらかじめ次の内容のテーマがプリントになって示されているため、事前に準備することができる。復習に関しては、特にする必要はない。自習については、次の授業に当たって必要な課題があれば行うが、それ以外は特にしていない。</p>
クラス名 : Grammar	
概要・内容・進度・理解度等	予習・復習・自習について
<p>グラマーのクラスでは、毎回の授業で予習を含む課題が課され、宿題をこなすことが予習になっている。内容としては、教科書に沿って授業が進められていて、教科書の中の問題をクラスメイトと共に、理解しながら文法を身につけていく。文章を読んで、その文章に含まれる文法から学ぶこともあり、読解力をつけることにも役立っている。</p>	<p>予習に関しては、宿題が予習をしていくことというのが多く、課題をこなすことで予習になっていたり、Presentationが次のチャプターについての発表な為、それも予習になっている。また、自習に関しては、テストが度々あるため、それらに向けて自習をする必要がある。</p>
クラス名 : Writing	
概要・内容・進度・理解度等	予習・復習・自習について

<p>ライティングのクラスでは、新しく来た先生で、アカデミック担当の教授な為、授業の内容が少し難しくなり、より充実した内容になった。エッセイの書き方やカナダ流の授業のやり方など多方面にわたり学ぶことが出来、また世界の歴史的建造物などの歴史についても触れることが出来、とても興味深い内容であると感じている。本学の授業で触れたことのある内容についても授業でならい、自分のメジャーに近い内容を学ぶことが出来たことにとてもうれしく感じている。</p>	<p>予習に関しては、特にする必要がなく、授業内で完結していく先生の授業スタイルで、むしろ予習をしない方が良いクラスである。また、復習に関しても、授業内で行った課題は毎時間回収されるため、復習する事はあまりない。自習に関しては、テストの前に、回収されて帰ってきた物のみもう一度目を通し、頭に入れるようにしている。</p>
---	--

<p><b>クラス名 :</b> vocabulary</p>	
<p><b>概要・内容・進度・理解度等</b></p> <p>ボキャブラリーの授業では、単語をより深く理解しながら、様々な使い方を身につける事が出来、今まで知っていた単語でも知らなかった使い方を学ぶ事が出来ているため、生きた単語を身につけられていると感じている。また、単語についてのプレゼンテーションも行い、その単語の違う形やイディオム、またどのように文章として使うことが出来るかなど、様々なことを学ぶ事が出来ている。</p>	<p><b>予習・復習・自習について</b></p> <p>予習に関しては、みんなで一緒に教科書の内容を確認しながら進めているため、特にする必要はない。また、復習に関しても、授業内でプレゼンテーションを行うときやテスト前にもう一度目を通す必要があるが、特別に何かする必要はない。</p>

<p><b>クラス名 :</b> Reading</p>	
<p><b>概要・内容・進度・理解度等</b></p> <p>リーディングのクラスでは、教科書に沿って授業が進められていて、教科書内の文章について深く理解し、筆者の意図やなぜここにこの文法が使われているのかなどリーディングのクラスでありながら、多方面に学ぶことが出来ている。また、グループワークが多く、クラスメイトと会話しながら進められるため、スピーキングも向上でき、要約をすることが多いため、ライティングの向上にもなっていると感じている。</p>	<p><b>予習・復習・自習について</b></p> <p>予習に関しては、毎時間にプリントが配られ、それについて考える必要があり、次の授業ないでしっかり意見をもって参加することが求められている。また、復習に関しては、毎時間の内容がつながっていることがほとんどなため、全てを見直しておく必要がある。</p>

<p><b>3. 語学力について</b></p>
<p>現時点での語学力に関しては、以前よりはリスニング力が上がったと実感しているが、まだ聞き取れないことがあったり、国によって訛りが強いと何を話されているのか理解できなかったりする。先生の英語はとても聞き取りやすく、会話が運びやすいが、生徒同士ではまだ聞き取れないこともある。また、スピーキングに関しては、自分より話せる人を目にすると緊張してあまり話せなくなることがほとんどであったが、今はだんだんと気にしなくなってきた。自分の意見を発言するときに、授業で先生やクラスメイトと話した後に、カナディアンとはなすと、まだ口がうまく回りやすく、発音がうまくいくようになりやすいが、あまり会話に参加出来ない日には、うまく口が回らない。常にカナディアンと生活をしていることが会話する機会を増やしていて、以前より良い環境ではあると感じているが、自分からもっと会話をしようとしないと、なかなか会話する機会がないため、これから自分で会話の機会を増やしていきたい。</p>

<p><b>4. これまでの学習・研修目標および達成度について</b></p>
---

これまでの学習について、現在6ヶ月目に入っているが、最初の頃に比べて精神的な学習に対する不安は一切なく、クラスメイトと学習を共にする日々で、みんなそれぞれのペースで学習していることから、他人と比べすぎずに自分の学習に取り組めるようになったと感じており、今まで自然と自分にかけていたプレッシャーから少し解放された。学習する上で、自分の精神状態がとても大事になってくるなと感じていて、今までの自分は、何に対しても新しいことやなれていないことに強く不安を感じて、思うような行動がとれなかったことが多々あった。しかし、自分自身や自分の人生と正直に見栄を張らずに向き合い、自分がどのように変わっていきたいのか考え、学習に取り組むことが出来るようになってきていると感じている。

#### 5. 今月の学習・研修目標

今月の学習の目標については、残り二ヶ月になったため、後悔のない学習にすることを忘れずに、自分が持っている力を最大限発揮できるように取り組んでいきたい。また、テスト前最後の月になるため、しっかり学習に取り組み、来月のテストに向けて早めの準備をしていきたい。具体的な数値に関しては、全授業でA以上をとりたい。

また、学園祭のようなものが開催され、日本人として日本の曲を発表する予定な為、しっかり練習に取り組み。帰国前の思い出、経験としていい物に出来る様に頑張りたい。

### III. 課外活動について

#### 休日の過ごし方、アクティビティ、サークル活動、旅行など

休日の過ごし方としては、常にカナディアンと行動し、会話をするようにしているため、もっと深い内容を話せるようにこれからも会話をしていきたい。また、スキーに行ったり、ショッピングに行ったり、公園に行ったり、なるべく外に出て活動するようにしている。旅行に関しては、バンクーバーにバスで行くことができるため、来月の帰国前に、もう一度観光しに行く計画を立てている。

### IV. 現在までの感想

#### 現地大学、プログラムや、悩み、就職活動、その他学修や生活などについて

現在まで約6ヶ月が経過し、残り2ヶ月になったところで帰国後のことをより考えるようになった。今までの留学生活の中でたくさんの人に出会い、皆それぞれ違うバックグラウンドをもちながら常に先に向かって行動している姿から、たくさんの刺激を受けてきた。今まで自分の将来について向き合っただけではなかったわけではないが、今この時期だからこそ自分の人生を動かすことが出来る位置に、今自分は立っていると強く感じながら日々を過ごしている。こういう自分になってこの人のためにこういう人生の進め方をしたいという形が見えてきていることや、そのために今できることが分かってきていることを自覚しながら、今現在の自分の語学力の未熟さにまだまだやることはたくさんあるが、将来の理想図に向けて一つ一つ着実に進んでいきたい。今まで留学することが夢で、その夢をつかんだときに、次に何をしたら良いか分からず悩んだときもあったが、今は新たな目標に向けて、もっと時間を大切にしていきたいと感じている。カナダに来ることが出来て本当に良かった。

以上

## 神奈川大学派遣交換留学修了報告書

所 属	外国語学部	学 科	英語英文学科	3 年次
派遣先大学 (国)	トンプソンリバーズ大学 (カナダ)			
所属プログラム・ 学部・研究科	ESL	履修言語	英語	
留学期間	2019 年 9 月～2020 年 3 月			
報告書提出日	2020 年 5 月 1 日			

### 1. 学修について

#### 1.1. 学期区分

学期	授業期間	試験期間	履修登録するまでの過程
Fall Semester	9 月 4 日 ～12 月 14 日 (15 週)	10 月 20 日 ～10 月 31 日 11 月 18 日 ～11 月 30 日	英語力の結果、ESL の受講が認められたので、オンラインで登録を行い、学内の教務課で履修登録を行いました。オリエンテーションは最初の数日間行われ、9 月 4 日から授業が始まりました。中間テストと期末テストがあり、期間はどちらも 1 から 2 週間程度で行なわれました。
Winter Semester	1 月 6 日 ～4 月 25 日 (17 週)	4 月 6 日 ～4 月 25 日	授業は途中まで受けていましたが、中間テストはありませんでした。期末試験は受けていません。

#### 1.2. 履修科目・内容

学期	履修科目名	合計時間 (内訳)	履修内容・授業での取り組み
Fall Semester	Intermediate Grammar 1	33 時間  1.1 (時間/回) × 2 (回/週) × 15 (週)	授業は月曜日と水曜日に行われ、各 110 分の授業でした。内容としては、プリントに沿って行われ、課題として次の授業で行う内容を各自で解き、その答え合わせを授業内で進めていくような形でした。中間、期末テストは習った内容をしっかりと全て補うような問題となっていて、授業の内容を理解することでテスト対策にもなっていました。

Fall Semester	Intermediate Grammar 2	33 時間	授業は火曜日と木曜日に行われ、各 110 分の授業でした。内容としては、教科書を使いながら、授業で習った内容をまとめたプレゼンテーションも課題としてありました。グループワークや個人で問題を解く時間が設けられていました。文法を自分で考えたパワーポイントの中で他のクラスメイトに分かりやすく説明するため、自分自身の理解にもつながりました。
		1, 1(時間/回) × 2 (回/週) × 15 (週)	
Fall Semester	Intermediate Composition	33 時間	授業は火曜日と木曜日に行われ、各 110 分の授業でした。内容としては、エッセイを次々と異なるテーマでこなし、新しい表現を使えるようになることやエッセイの書き方を学ぶような内容でした。テーマに沿って、自分で課題を決め、そのことについて書くため、自分の意見を確立させながら物を書く作業は、数をこなすうちに徐々にエッセイが書きやすくなっていくような内容でした。
		1, 1(時間/回) × 2 (回/週) × 15(週)	
Fall Semester	Intermed Oral Communication	33 時間	授業は月曜日と水曜日に行われ、各 110 分の授業でした。内容としては、毎回の授業で異なるテーマをもとにグループワークで話を進めることや各自のテーマについてプレゼンテーションを行いました。リスニングテストなども随時行われていました。発音に関しても、絵で解説を受けながら似た発音の違いなどを理解しながら学ぶことが出来ました。
		1, 1(時間/回) × 2 (回/週) × 15 (週)	
Fall Semester	Intermed Reading Study Skills	33 時間	授業は月曜日と水曜日に行われ、各 110 分の授業でした。与えられた文章を熟読し、それに関する問題を各自で解き、クラス内で答合わせをしていく形で内容の理解を深めていきました。また、読むだけでなく書くことのスキルも身に着けられる内容で、自分で書くことで読み手の理解を深められる課題もこなしていました。よりアカデミックな書き方も学びました。
		1, 1 (時間/回) × 2(回/週) × 15 (週)	

### 1.3. 学修する上で心がけていたこと、予習復習の仕方について

学習をする上で心がけていたこととしては、課題として予習してくることが多かったため、課題をしっかりとこなすことが大事だと思い、真剣に取り組んでいました。

答えは基本的に教えてもらえず、各自解いた答えをクラス内で発表しながら答合わせをしていく形だったため、間違いをなるべく減らすように、何度も見直してから答えるようにしていました。

復習に関しては、授業の内容がそのままテストに反映されていたため、しっかりと復習をし、テスト対策にしていました。各チャプターごとに随時理解を確立させていった方が後々楽になると思ったので、毎回の復習、理解はおこなっていました。

#### 1.4. 語学力について

留学前は、一年生のころから継続して英語力 UP 講座を受講させていただき、英語力向上に努めていました。また、留学生のボランティアで浅草に行くなどのイベントに参加しました。どれも英語力やコミュニケーションの向上にはとても良い経験になったと思いますが、英語が話せるかという点あまりうまく話すことは出来ていませんでした。留学してからは、当初ほぼ初の海外経験で右も左もわからず、かなり苦戦しました。英語も聞き取れず、授業によっては友人と助け合いながら課題をこなしていました。しかし、2セメスター目になるころには、今までのほとんどの時間をカナダの人と共にしていたことが大きかったと思いますが、以前に比べてかなり自分の意見を伝えようとする度胸ができました。話せることも増えました。しかしそれと同時に、まだまだこれからで未成熟な面もたくさんあると感じることが多かったため、よりこれからのやる気ができました。

## 2. 留学の成果を振り返って

### 2.1. 学修の成果

学習内容から、すべての授業で当たり前ながら英語で進められ、英語でしか意思疎通が難しい環境で学んでいたり、ライティングのクラスでもスピーキングの授業のように会話がなされたりすることが、一番の目的であった語学力向上に大きな成果を与えることができたのではないかなと思います。また、各授業のために、しっかりと予習復習をし、授業に備えることと授業中のノートテイキングがとても役に立つかと思います。先生が、授業で抑えたポイントを授業内で質問してくることが多々あったため、ノートを見返したときに答えがそこにあるようにしたほうが、先生にとっても好印象ですし、自分にとっても理解度が深まるため、やっつけてよかったなと思いました。

また、一番苦手だったリーディングに関して、自分にとっては一番大変な授業でしたが、終わる頃には書けることが増えたり、どのような順序で、どのように理論立てて書くことが読み手に伝わりやすい文章にすることが出来るかを理解した上で、読み物を読めるようになったため、筆者が何を伝えたいのかを理解しやすくなりました。

### 2.2. 学修面での反省点ならびに留学志望者へ学修面のアドバイス

最初のころは、まだ英語に耳が慣れていないかと思いますが、もし聞き取れないことがあったり、理解できなかったところがあれば、そのままにせず必ず先生に聞きに行くか、クラスメイトに聞いて確実に理解するようにすることが大事だと思います。そうすることで、周りの人との交流も生まれますし、会話する機会にもなりますので、しっかりと自分から行動することが大事だと思います。

また、テスト対策のためにも、毎回の授業の内容をその日のうちに整理しておくことをおすすめします。テスト範囲は、割と広めなので、毎回の積み重ねが後々楽になってくるかと思います。私はリスニングがあまり得意ではなかったため、苦労しました。ですが、そういう人ほどどんどん交流の場を作っていて、英語に触れる機会を増やしていくと成果が大きいと思いますので、自分の成果を実感しつつ、自信に繋げてほしいと思います。

### 2.3. 留学生活で得られたもの

留学生活で得られたものはたくさんありますが、一番は人との出会いであったと思います。今回の留学生活を通して、自分にとってかけがえのない存在に出会うことができたと思います。その人に出会うことは、今回の留学でカナダのトンプソンリバーズ大学という大学で学ぶ機会を得られなければなかったと思います。そう考えるだけでも、留学に行けて本当に良かったし、宝物に出会えた気持ちです。毎日その人と会い、関係を深めていけたことは、国籍を超えてもこれだけ人を好きになることができることや、言語の違いから意思疎通が難しい中、喧嘩したり、共通点を見つけてうれしくなったり、国籍も育ってきた環境も違う相手との交流を通して、真剣に人と向き合って自己理解も深められたり、得られるものしかありませんでした。これだけ真っすぐに逃げずに向き合うことができる仲になれた人ができて、とてもうれしく思います。

### 2.4. 留学生活での反省点ならびに留学志望者へ生活面のアドバイス

留学での反省点としては、もっと積極的にたくさんのイベントや学内でのイベントに参加したり、もともとあるコミュニティの中にいるだけではなく、もっと新しい知らない人のコミュニティの中にも飛び込んで活動の幅やネットワークを広げていくことができたなら、よりたくさんの経験をすることが出来たのではないかなと思いました。

また、語学力の面でも、最初の頃は何も話せず、話せないことを気にしすぎて、どんどん閉じこもっていた様に思えるので、もっと自信を持って、あまり深く考えすぎずに、自分から話しかけたり、積極的に発言したりできたら良かったなと思いました。

最初はみんな話さなくて当たり前だと言うことを胸に留めて、もっとたくさんすることにチャレンジしていくことをしていったほうが絶対がいいと思います。留学の期間はすごく限られているので、そのことももっと自覚しながら過ごしていった方がいいと思います。

生活面では、常に自炊することになるので、もしあまりなれていない方は、留学の前から練習したり、ある程度準備してから行った方がいいと思います。そこに関しては、教えてくれる人はいないので、自分を成長させるにはすごくいいと思います。

また、病気に万が一なってしまった時を想像して、出来る対策はしておいた方がいいと思いました。私は留学の前に、まさかじぶんが病気になんかなるわけがないと思っていました。しかし、実際に現地で体調を崩したとき、医学用語が何も分からず、友人が着いてきてくれたため助かりましたが、それが必ずしもあるとは限りません。しっかりと対策をしておいた方がいいと思いました。

勉強面では、毎回の授業で、もっと積極的に発言しなければいけないなと思いました。当てられたときにだけ発言するのではなく、自分からどんどん先生とコミュニケーションをとるようにしていった方が絶対がいいと思いました。先生と仲良くなることで、自分が普段聞けること以上に話を聞けるようになったりと、良い点しかないと思いました。自分ができることはとにかく実践するのが留学の成果を大きく変えると思います。

ためらわずとにかくやってみる。それが一番大事だなと感じました。

## 派遣交換留学中の生活等に関する調査

記入日	2020年4月25日	
派遣先国	カナダ	
派遣先大学	トンプソンリバーズ大学	
留学先での所属学部	<input type="checkbox"/> 特定の学部・研究科等 学部名：( ) <input type="checkbox"/> 語学研修 <input checked="" type="checkbox"/> その他 ( ESL )	
本学での所属	外国語学部	英語英文学科・専攻
学年	2年次 (留学開始時の学年)	
	2年次 (留学終了時の学年)	
留学期間	留学開始年月 2019年9月 ~ 留学終了年月 2020年3月	
	留学期間 7ヶ月間	

### I. 留学先での住居について

1	住居形態は 何でしたか？	<input checked="" type="checkbox"/> 学内寮 <input type="checkbox"/> 学外寮 <input type="checkbox"/> ホームステイ <input type="checkbox"/> 民間アパート <input type="checkbox"/> その他 ( )
2	部屋の形態	<input checked="" type="checkbox"/> 個室 <input type="checkbox"/> 相部屋 (同居人数 )
3	住居形態の詳細を教えてください。	(ルームメイトが3人で、各自一人部屋があるが、トイレやお風呂は共有になっていた。ルームメイトは予め自分でコンタクトを取り、指名することができる。間取りは、約7畳ほどの一人部屋で、シンクや収納がある。しかし、コンロはついていないため、購入するか共有のキッチンを使うことになる。)
4	入居時手続き	(日本にいたるうちに、ホームページから申し込みをし、指示に従って手続きを行う。とても分かりやすく説明されているため、スムーズに進めることができた。デポジットなどの支払いは、ホームページを通して行うため、現地で払う必要はない。寮のオフィスでカギをもらい、書類にサインして提出すると部屋に入ることができる。)
5	費用 (月額)	( 50000 )円
6	食費 (月額)	<input checked="" type="checkbox"/> 自炊 <input type="checkbox"/> 食堂 <input checked="" type="checkbox"/> 外食 <input type="checkbox"/> その他 ( 20000 )円
7	支払方法	( まとめて支払い )
8	住居に附属する設備	<input checked="" type="checkbox"/> 洗面所 <input checked="" type="checkbox"/> トイレ(共同) <input type="checkbox"/> トイレ(個別) <input checked="" type="checkbox"/> シャワー(共同) <input type="checkbox"/> シャワー(個別) <input type="checkbox"/> 浴槽 <input checked="" type="checkbox"/> 冷暖房 <input checked="" type="checkbox"/> 台所 <input type="checkbox"/> 食堂 <input type="checkbox"/> ジム <input checked="" type="checkbox"/> 洗濯機 <input checked="" type="checkbox"/> 乾燥機 <input type="checkbox"/> その他 ( )
9	住居選択方法	<input type="checkbox"/> 大学に申込 <input type="checkbox"/> 留学先大学の斡旋 <input type="checkbox"/> 友人・知人の紹介 <input type="checkbox"/> 不動産業者・新聞を通じて <input checked="" type="checkbox"/> インターネット <input type="checkbox"/> その他( )
10	周囲環境	( 徒歩圏内にスーパーが二つあり、アジアストアもある。寮の近くにはジムもある。 )
11	アクセス	( 大学へは、徒歩10分圏内。 )
12	留学中の住居に関して アドバイス	( 最初はランドリーのやり方も何もかもわからないと思いますので、日本人とはあまりかかわらないようにしようと思いかもかもしれませんが、最初は日本人のコミュニティと仲良くすることをおすすめします。 )



## II. 通信環境について

1	日本キャリアの携帯電話	持参した
2	現地キャリアの携帯電話	現地でSIMカードを購入
3	現地携帯電話の取得手続きの方法	(スーパーかドラッグストアで購入可能)
4	自宅のインターネット接続環境	無線(大学または寮へのLAN接続)
5	大学内インターネット接続環境	無線(大学または寮へのLAN接続)

## III. 留学費用について

諸経費(1ヶ月の平均)			
1	1	1	1
2	2	2	2
3	3	3	備考(セメスターごと)
4	4	4	
5	5	5	
6	6	6	
7	7	7	備考(セメスターごと)
8	8	8	
9	9	9	
10	10	10	
上記以外にかかった大きな金額の内訳(留学準備期間含む)			
11	11	11	備考(一括)
12	12	12	
13	13	13	
14	14	14	
15	15	15	
お金の持って行き方			
16	<input checked="" type="checkbox"/> 現金(渡航時: 5千円) <input checked="" type="checkbox"/> 国際キャッシュカード(銀行名: ジャパンネット銀行、三菱UFJ銀行) <input type="checkbox"/> 海外送金 <input type="checkbox"/> クレジットカードからのキャッシング <input type="checkbox"/> その他( )		
17	17	17	
18	18		

## IV. 保険・医療について

1	1	Guard Me (8か月分で5万円)
2	2	はい
3	3	受けた
4	4	キャッシュレス
5	5	正露丸 理由; お腹が弱いから か?理由はなんですか?

## V. 持ち物について

### 1 日本から持っていったもの

日本食、爪切り、USB、常備薬、衣服類、アイロン、変圧器、ポケットティッシュなど。

### 2 現地で購入したもの

ドライヤー、コンロ、食器類、洗剤やシャンプーなどの消耗品など。

### 3 (自分は持っていかなかったが) 日本から持っていったら便利だと思ったもの

レターセット、冬用の衣服(ヒートテックなど)

## VI. 留学先で困ったこと

SIMカードを購入する際、どのSIMがいいかわからなかったため、現地の友人に教えてもらった。あまりSIMについて詳しくなかった為、一人では難しかった。

## VII. その他、後続の学生へのアドバイス

交換留学では、想像以上に得られることがたくさんありました。私の場合は、人生を大きく変えてくれたと心から思います。かけがえのない存在に出会えることがそれぞれに待っていることと思いますので、ぜひ楽しんで学んできてほしいです。

